
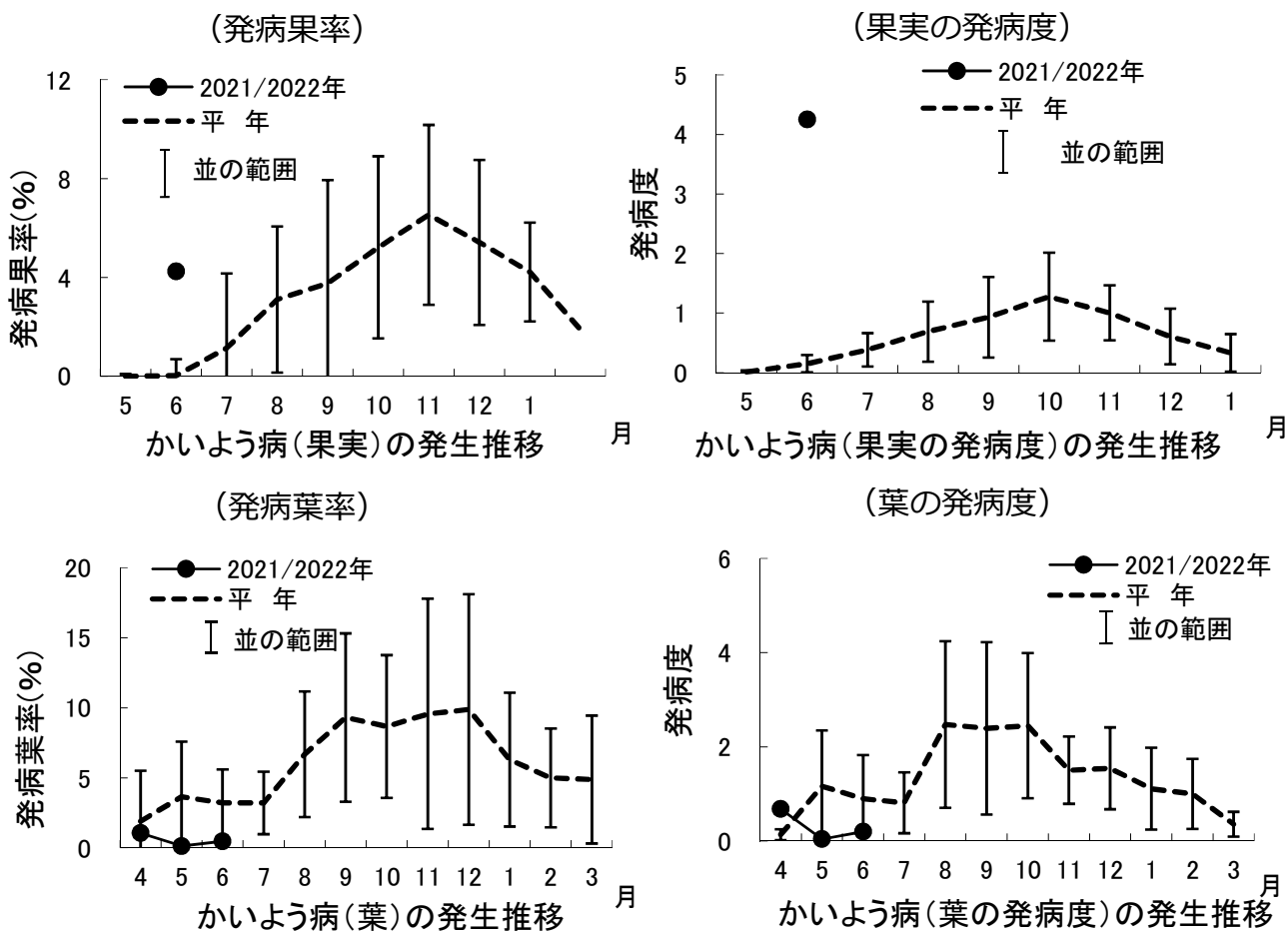


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	多	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
		7 月の発生量 (平年比)	多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗) 今後 1 か月の降水量が平年並か多い見込み	

調査結果




防除のポイント

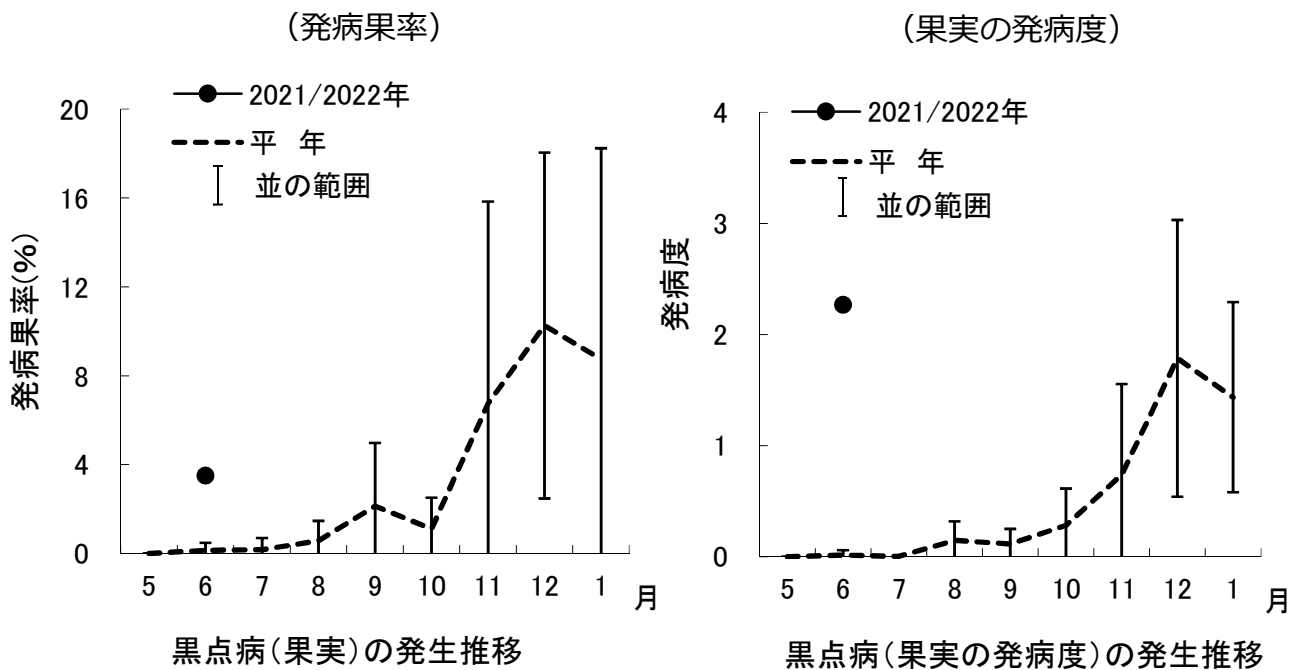
- 罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。



被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
予報	6 月の発生量 (平年比)	多	
	6 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	7 月の発生量 (平年比)	多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の降水量が平年並か多い見込み	


調査結果



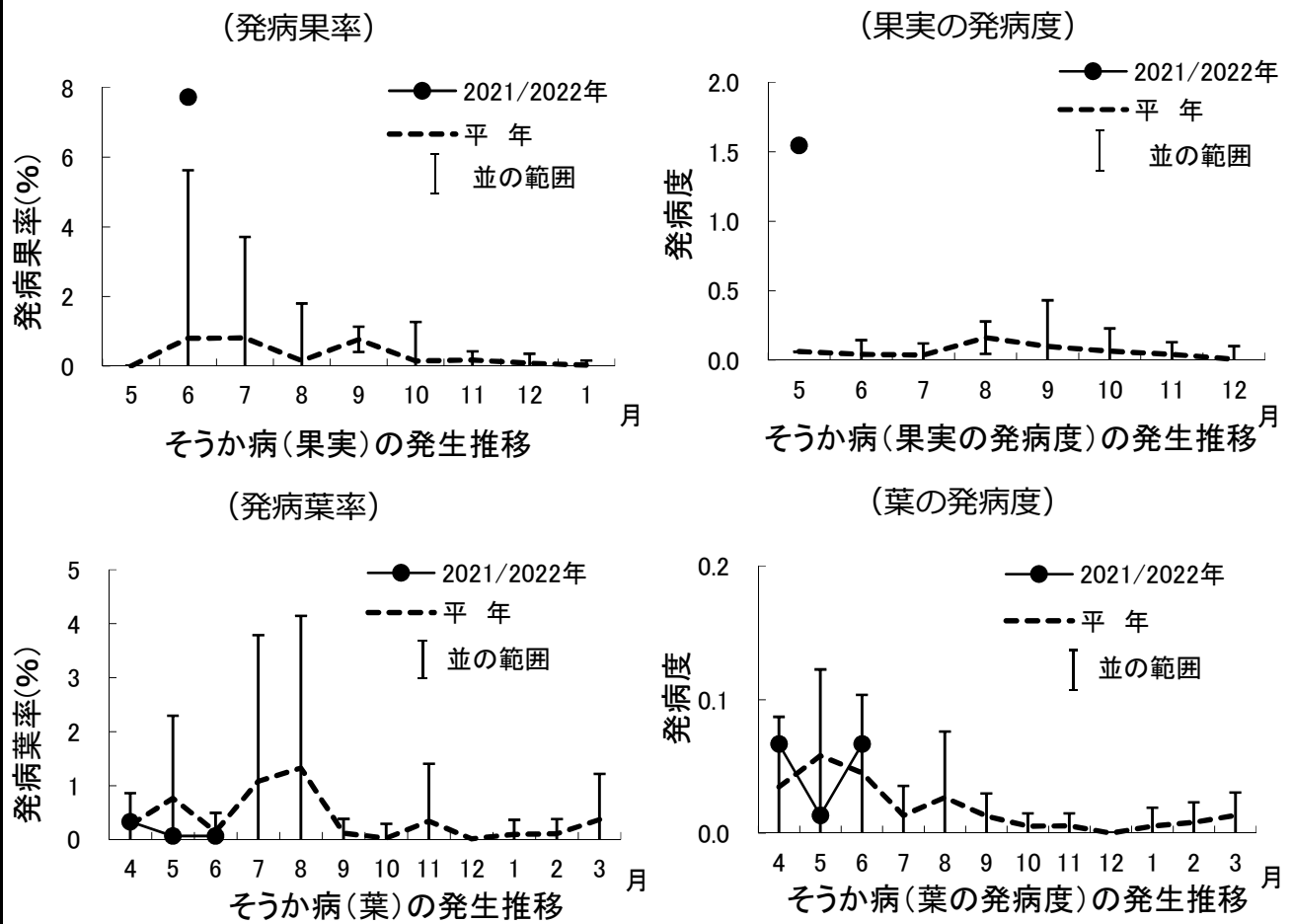
- ・ 発生ほ場率 : 40.0% (平年5.1%)

防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	多	
予報	6 月からの増減傾向	→	
		7 月の発生量 (平年比)	多
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の降水量が平年並か多い見込み	

調査結果




防除のポイント

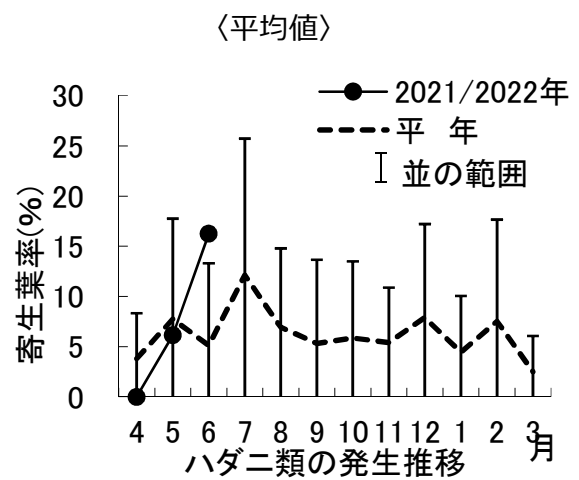
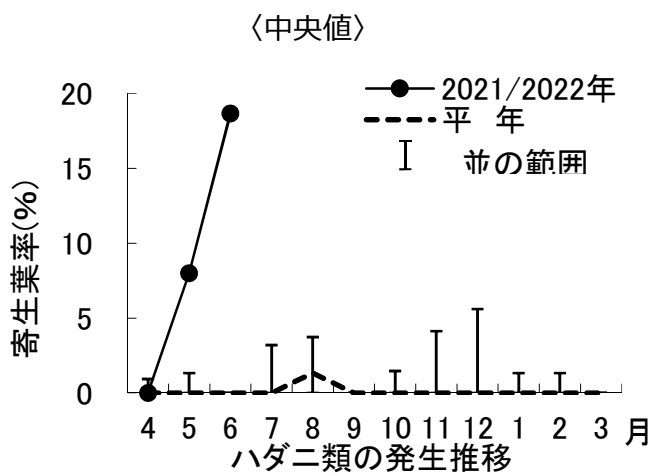
- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	6 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗） 今後 1 か月の降水量が平年並か多い見込み	

調査結果



・ 発生ほ場率：60.0%（平年値：26.0%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状